

2024 第2回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【英語】

前回の第1回学力テストよりも出題範囲が広がり、かつ問題の難度が上がっているため、実力の差がより一層出やすい問題となっています。今後の英語学習の基本となる文法内容が多く出題されているので、この時期にしっかりと理解しておきたいところです。

1 適語補充問題

日本語の意味に合わせた英文完成で、主語が三人称単数の一般動詞の形①の has[eats],⑤の gets, ⑦の knows には十分に注意しましょう。5は主語が複数ですが、⑨に一般動詞 run を入れてしまうと、直後の fast で文が完結してしまいます。be 動詞の文に置き換えれば、⑨に are, ⑩に複数形 runners 「走者」(ここでは走る動物)が入ります。このような文の書き換えは今後のテストでも多く出題されるので、しっかりと覚えておきましょう。

2 対話文完成問題

対話文形式による適語補充で、AとBの対話を注意して読み、空所に入る語を慎重に見極めることが大切です。これといった難問はありませんが、うっかり間違いをしないように十分に注意しましょう。3の⑤には Yes か No が入りますが、それを見極めるために、後の文の内容から判断します。4の⑦には、「～はだれですか」と人物を尋ねる疑問文になるので、疑問詞 Who が入ります。

3 書き換え問題

主語が単数の文を複数に書き換える、あるいは複数の文を単数に書き換える1・2のような問題は、基本問題なので、確実にできるようにしておきましょう。下線部をたずねる疑問文は、下線部の語句の内容によって、どの疑問詞で始まる疑問文になるのかのパターンをつかんでおく必要があります。4は数字の thirty-eight 「38」が下線部なので、How many で始まる数を尋ねる疑問文になります。5は所有格の Ms. Green's 「グリーンさんの」が下線部なので、Whose で始まる持ち主を尋ねる疑問文になります。

4 連立完成問題

1・2の be 動詞の文 ⇔ 一般動詞の文の書き換えは、よく出題される基本的なパターンの問題なので、確実に正解したいところです。3の walk to～「歩いて～行く」を go to ～on foot「徒歩で～へ行く」の書き換えもよく出題される基本的なパターンの問題です。4は上の英文中の price の意味が「値段」であることがわかれば、下の英文は How much で始まる物の値段を尋ねる疑問文であることがわかります。

5 整序英作文問題

1は have a good time「楽しい時を過ごす」、2は leave A for B「Aを出発してBに向かう」と熟語の知識を問う問題です。3は <no+名詞>で、「全く～ない」と強い否定を表す文になります。4は <Who+一般動詞[三単現の形]>「だれが～しますか」の疑問文にします。5は、まず「いくつの季節」の部分で How many seasons で始めて、その後は疑問文の形と前置詞の do you have in が くることがポイントです。

6 語い問題（語の関係）

1～3・5はごく基本的な語です。3は同音異義語の問題なので、ant「アリ」の同音異義語 aunt「おば」が正解です。4は「月曜日」を「1番目」にしているの、「4番目」の曜日は Thursday「木曜日」になります。

7 会話文読解問題

3人の子供たちが幼稚園のジャングルジムで起きた小さな事件をきっかけに、先生の的確な教えもあって、お互いの性格をより良く理解するという話です。本文中には、この時期の中1の問題にしてはやや難しい単語や表現もありますが、これまでに学習した知識を生かして、じっくり読んで解答していきたいところです。問1の心情理解は、下線部(1)の Who is the boss?の解釈がポイントになりますが、bossは「支配者、上司」という意味なので、「どちらが支配者ですか。」→「どちらの方が立場が上ですか。」と考えて、最も本文の内容に一致するものを選びます。問4の内容理解は、下線部(4)の「アンディには玩具の蜘蛛は依然として蜘蛛だ」を「本物の蜘蛛と同じように、玩具の蜘蛛も苦手だ」と解釈するのがポイントです。問6の内容説明は下線部(6)の直後の I am not～afraid of falling「高い所は怖くないが、(高い所から)落ちるのが怖い」を15字以上25字以内の日本語にまとめます。このとき、fallingの意味がポイントになります。

2024 第2回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【数学】

中学に入学してから学んだ正負の数・文字式・方程式に関する問題を、基本から応用まで幅広く出題しています。全体として、計算はさほど複雑でないもののあまり解き慣れていない形式の出題もあったのではないのでしょうか。この先数学の実力をより高めるためには、見慣れない問題に対していかにして解き進めるかといった応用力も求められます。基礎力・応用力を身につけるために、よく復習をして今後の学習に役立ててください。

① 計算問題（正負の数・文字式・方程式・比例式）

計算力の確認をしています。いずれも基礎的な計算であるため、全問正解を目指しましょう。不正解だった人は、どこでミスをしたのか、それとも知識がなかったのか、明らかにしてください。たとえば、カッコを外すときに符号を間違えてしまう等、似たミスを起こしやすいので、次からは特に意識するようにしましょう。

② 小問集合（方程式の解・約数・角度・面積）

(2)は、すぐに正しい解法を思いつかなくても、 n に具体的な数を代入していくことで要領をつかむことができると考えています。(3)では、求めたい値を文字でおいて方程式をつくるといった、方程式の基本を問うています。(4)はやや手がつけにくい問題で、正答率は低いと考えています。

③ 文字式の利用（個数）

ボールの個数と文字式をからめた問題です。江戸時代から伝わるとされる碁石遊びの「薬師算」をアレンジした問題です。問題文がやや長く、題意を読み取るのが大変だったかもしれませんが、問われていることはすごくシンプルです。ぜひ理解しておきましょう。

④ 方程式の利用（売上）

売上をテーマとした方程式の文章題です。問題文の条件を正確に読み取り、「セット」が売れた個数を文字でおくことができれば、比較的容易に式をつくることができます。何を文字でおくかによって方程式は異なりますので、正解できた人も他の解法で解き直してみるとよいでしょう。

5 方程式の利用（割合）

勝率に関する方程式の文章題です。おそらく、あまり解き慣れた問題ではないであろうと考えています。しかし、解法の道筋の立て方は、これまで学習してきた方程式を利用する問題と大きな違いはありません。正しく数量関係をつかみましょう。

6 文字式の利用（図形）

図形内を動く点と面積に関する問題です。底辺と高さが素直に与えられていない三角形の面積を求めるときには、面積を計算できる三角形や四角形に分けたりつけ足したり、全体を囲ったりなどの工夫をしましょう。本問では、大きな台形から直角三角形を取り除くとみなして、線分の長さを文字式で表し、正確に方程式をつくって解くことが求められています。(3)は、 x の範囲に注意して場合分けする必要があることから、難易度の高い問題です。

2024 第2回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【国語】

夏休み終盤に実施のテストということで、これまでの学習成果を総合的に判定し今後の学習課題を明確化するために、漢字・文法などの知識問題から、論説文・小説文の読解問題まで、幅広い領域の問題を出題しました。論説文・小説文ともに、深く読み込まないと内容が取りにくい文章を使用したので、文章の論旨や場面の展開などをしっかりと読み取り、理解を深めてください。

目標点は50～55点。

㊦ 漢字の読み書き

日常的に使用する言葉の中から、書いて、読めておくべき漢字を出題しました。(1)「悔いる」・(2)「朗らか」・(6)「厳か」など漢字を訓読みする場合の言葉の語彙も増やしておきたいところです。(7)「辛酸をなめる」や(8)「繁忙期」は聞き慣れない人もいるかもしれませんが、これを機に覚えておきましょう。また、(4)の「以心伝心」など四字熟語は入試頻出ですので、中1のうちから対策しておきましょう。

㊦ 論説文の読解…………… 鷲田清一『ポストコロナ期を生きるきみたちへ』より「マスクについて」

著名な哲学者である鷲田清一氏の、マスクを哲学的に考察した文章を採り上げました。本文の内容を難しく感じた人もいるかもしれませんが、鷲田氏の文章は高校入試でよく取り上げられますので、読書などによってこのような文章に今のうちから慣れておきましょう。抜き出しの問題を多く出題しましたが、指定されている条件に合っている箇所を見つけて書いているかを確認することがねらいとなります。問九の記述問題では、答えに「化け物」・「顔」という語を用いたものが多く見られました。設問文の「比喩表現を使ってはならない」という条件を見落とさないようにしましょう。

㊦ 小説文の読解…………… 片島麦子『未知生さん』

現代を舞台にした小説なので、読みやすい文章だったと思います。ですが、主人公の行動からの心情の読み取りを中心に、本文の途中に挿入されている回想場面や「――」や「……」の使用、比喩表現による心情描写などを正しく理解して読解する必要があります。問十一は正解したいところです。また、問題を解く際は、――線の近くに書かれている情報と選択肢の内容を正確に参照しなければなりません。問一・問六は迷わずに解けたでしょうか。普段の読書とは違う「受験国語」としての解き方を意識しましょう。

四 文法

文節分けの問題です。解き方として「ね」で分けるのが定番ですが、それだけでは間違えてしまいそうなものをあえて出題しました。(3)の「ように」の前で文節を切ってはいけないこと、(4)の「その」の後ろで文節を切ること、(5)の「ため」の前で文節を切ることを覚えておきましょう。文節分けの問題は中1の最初に習うものですが、公立高校を中心に入試でも多く出題されます。